

平成26年12月17日
北九州市港湾空港局物流振興課

大連ミッションの派遣報告

官民が一体となって北九州港のポートセールスを行っている「北九州港航路集貨対策委員会」では、今年度の海外ポートセールス事業として、中国（大連）を2泊3日の日程で訪問するミッション団を派遣した。

今回のミッションでは、大連港集团有限公司と意見交換するとともに、コンテナふ頭である大窯湾港や東風日産乗用車大連工場を視察した。

記

1 ミッションの概要

- 1) 目的 北九州港と大連港は、友好港を締結して来年で30年となる。また、今年11月現在、3航路、月間16便のサービスで結ばれている。
北九州港の重要な貿易相手港である大連港との意見交換およびコンテナふ頭である大窯湾港の視察と、中国東北地方で唯一の保税区との意見交換および今年10月に車両生産を開始した東風日産乗用車大連工場を視察しポートセールスを行うことで、北九州港の航路拡充を図ることを目的に大連ミッションを計画した。
- 2) 団員 14名（民間企業9社10名、北九州市4名）
- 3) 日程 平成26年11月12日（水）～11月14日（金） 2泊3日

2 訪問先・内容

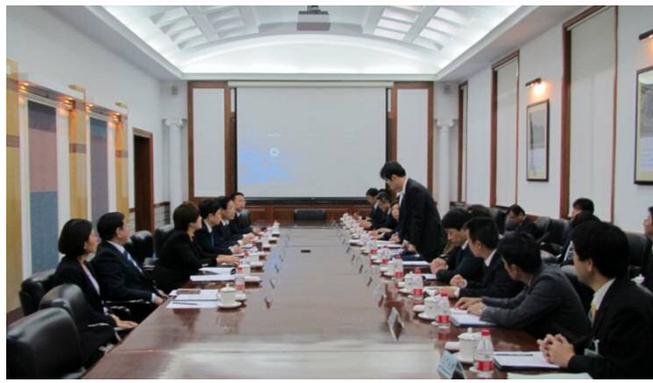
11月12日

- 駐大連北九州市経済事務所所長による大連及び中国情勢研修
大連及び中国の情勢について研修を受けた。

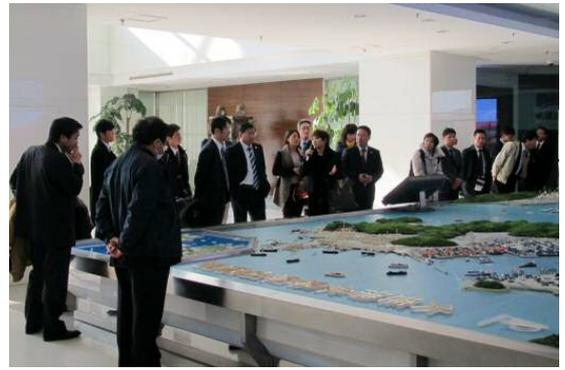
11月13日

- 大連港集团有限公司 表敬訪問及び意見交換
港湾空港局営業・空港担当理事：権藤 宗高より、「北九州港の現状」について説明した。
また、両港利用促進に関し、意見交換を行った。
- 大窯湾港ターミナル 視察
港湾模型を使つての港概要や、コントロールセンターで最新システムの港運営状況の説明を受け、展望台から大窯湾の視察を行った。
- 大連保税區管理委員会 表敬訪問及び意見交換
東風日産乗用車大連工場が立地する、大連保税區（Free Trade Zone）に関する概要説明を受けた。
また、北九州港の利用促進に関し、意見交換を行った。
- 東風日産乗用車大連工場 視察
北九州港周辺には自動車産業が集積しており、今後の北九州港の利用促進につなげるため、東風日産乗用車大連工場を訪問した。
模型を使つての施設概要の説明を受け、プレス工場内の視察を行なった。
- 現地進出企業との大連経済情勢に関する懇談会
大連の経済情勢についての意見交換会を行った。

3 大連ミッションの様子



① 大連港集团有限公司 表敬訪問



② 大窯湾港ターミナル



③ 大連保税区管理委員会



④ 東風日産乗用車大連工場